

# 経営比較分析表

岐阜県 池田町

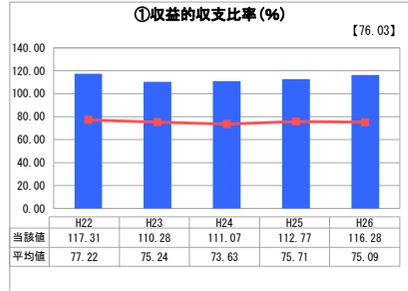
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	32.46	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,690	38.80	636.34
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,004	10.20	784.71

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



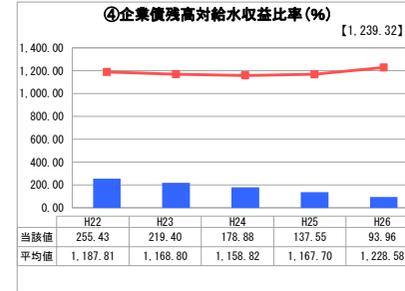
「単年度の収支」



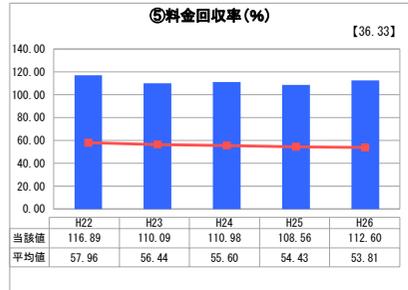
「累積欠損」



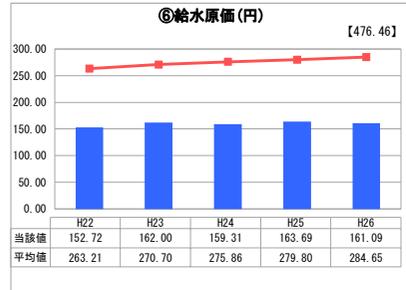
「支払能力」



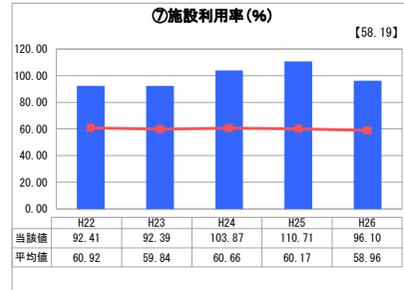
「債務残高」



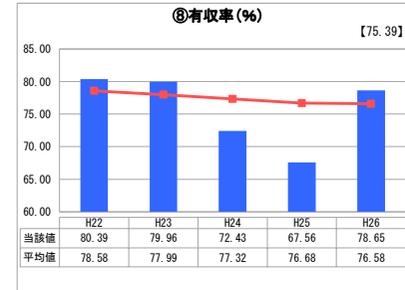
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

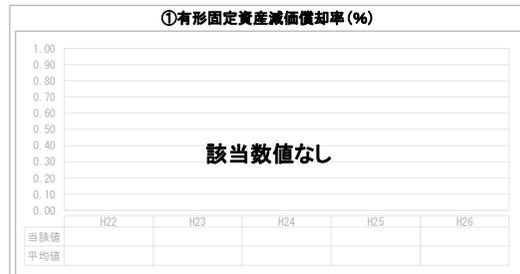


「施設の効率性」

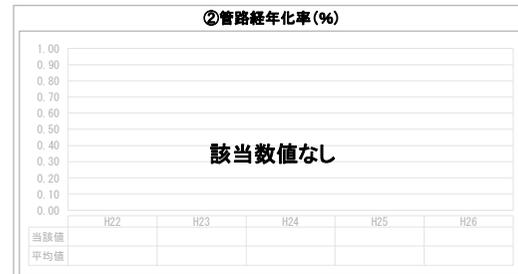


「供給した配水量の効率性」

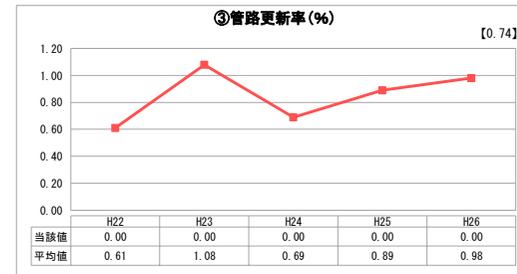
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性・効率性は保たれているといえる。今後、更新投資等に充てる財源確保のため費用の削減等を図り健全経営を継続していく。また、平成26年度には漏水調査を実施し大規模な漏水修繕により有収率の向上を図ったが、今後も漏水調査を継続して実施し早期の漏水修繕により有収率の向上を図っていく。

### 2. 老朽化の状況について

管路の老朽化は平成40年以降の問題となる。機械・電気設備は平成27～28年度で更新する。平成27年度には水道ビジョンを策定し、財政的な視点と合わせて今後の管路更新計画を検討していく。

### 全体総括

現在は比較的健全経営を実現しているが、今後水道施設への更新投資を着実に実施していくために経営戦略策定に取り組み、計画的かつ合理的な経営を行うことにより、持続可能な経営体制を目指す。1か月20m<sup>3</sup>当たりの家庭料金は3,240円に訂正します。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。